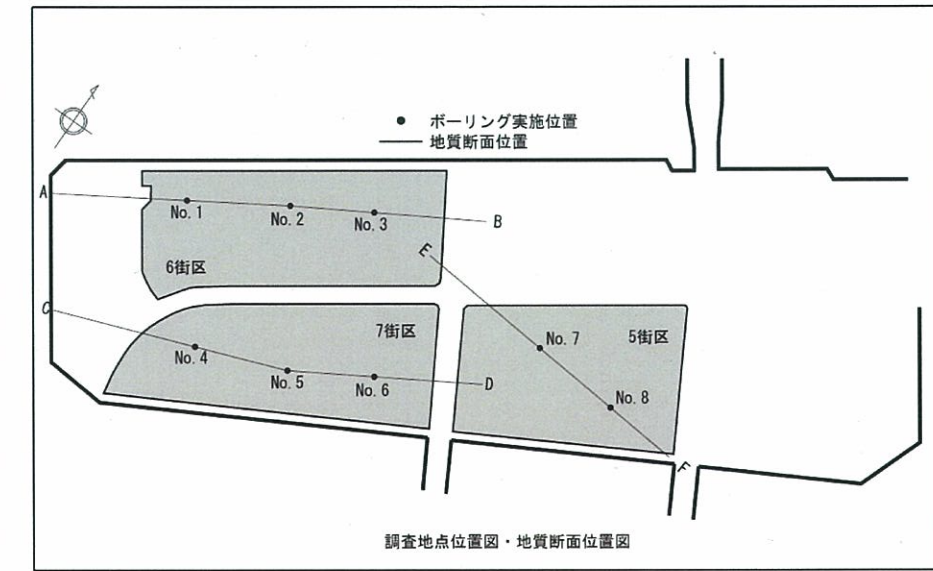
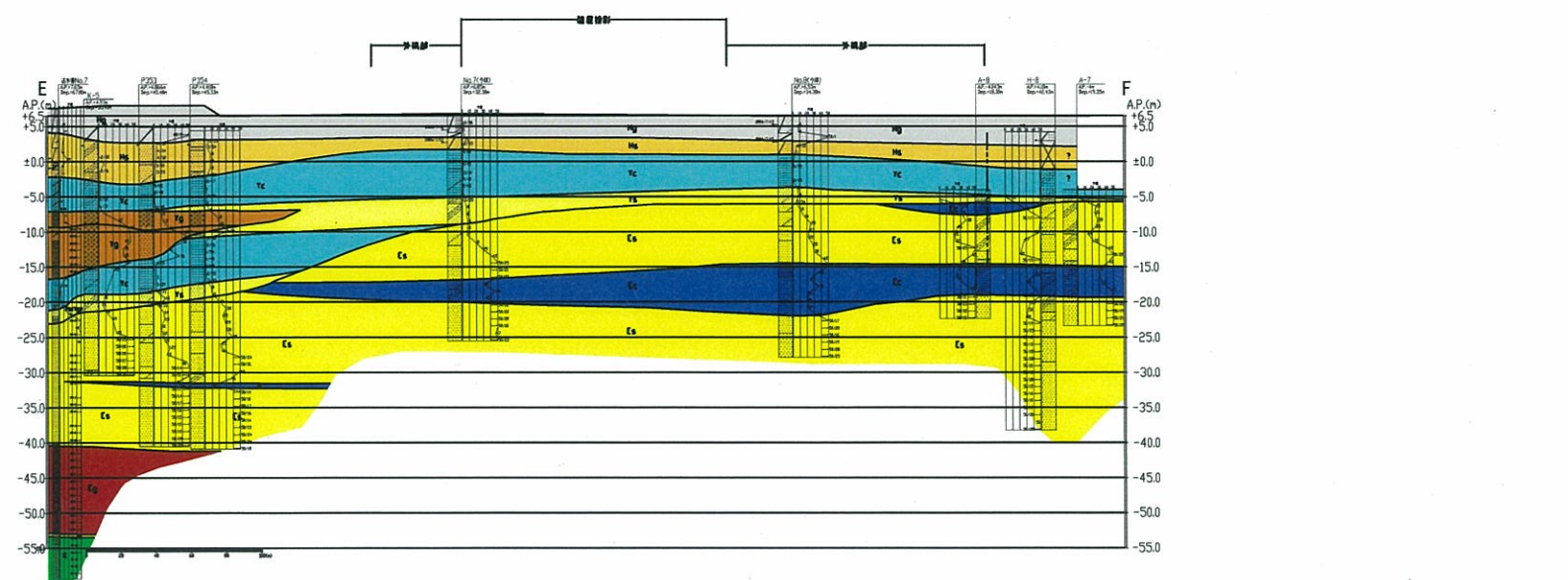
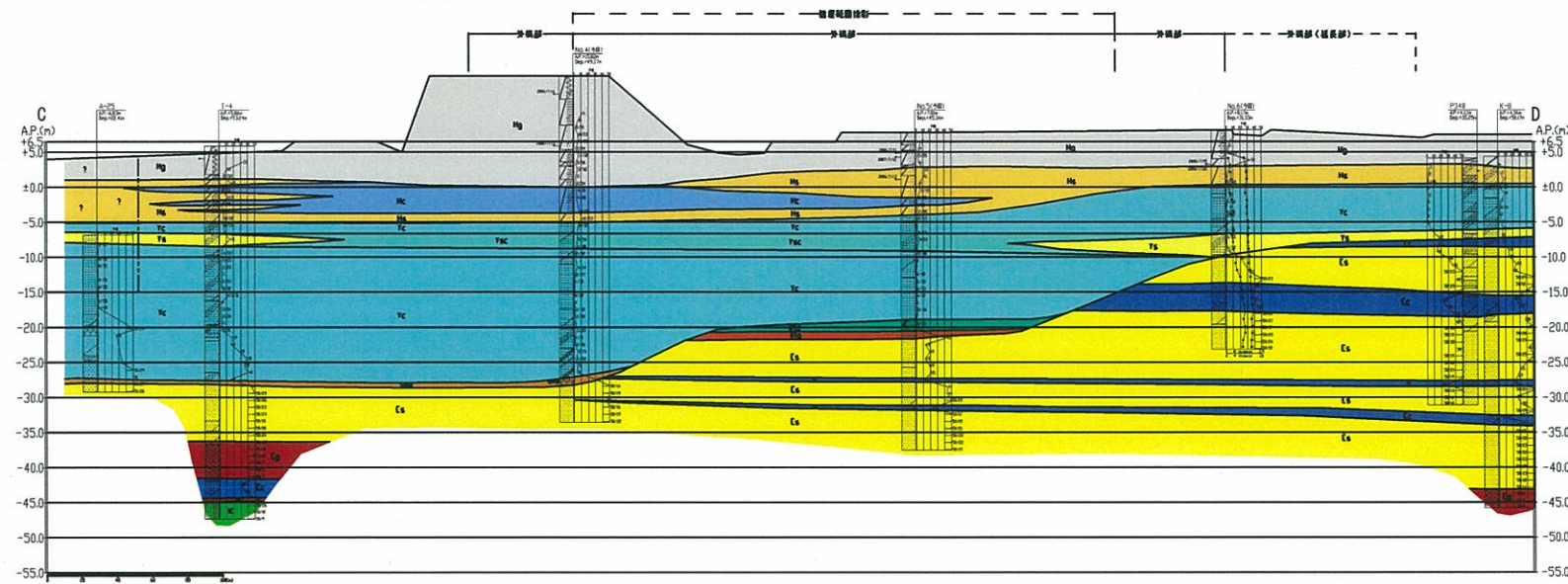
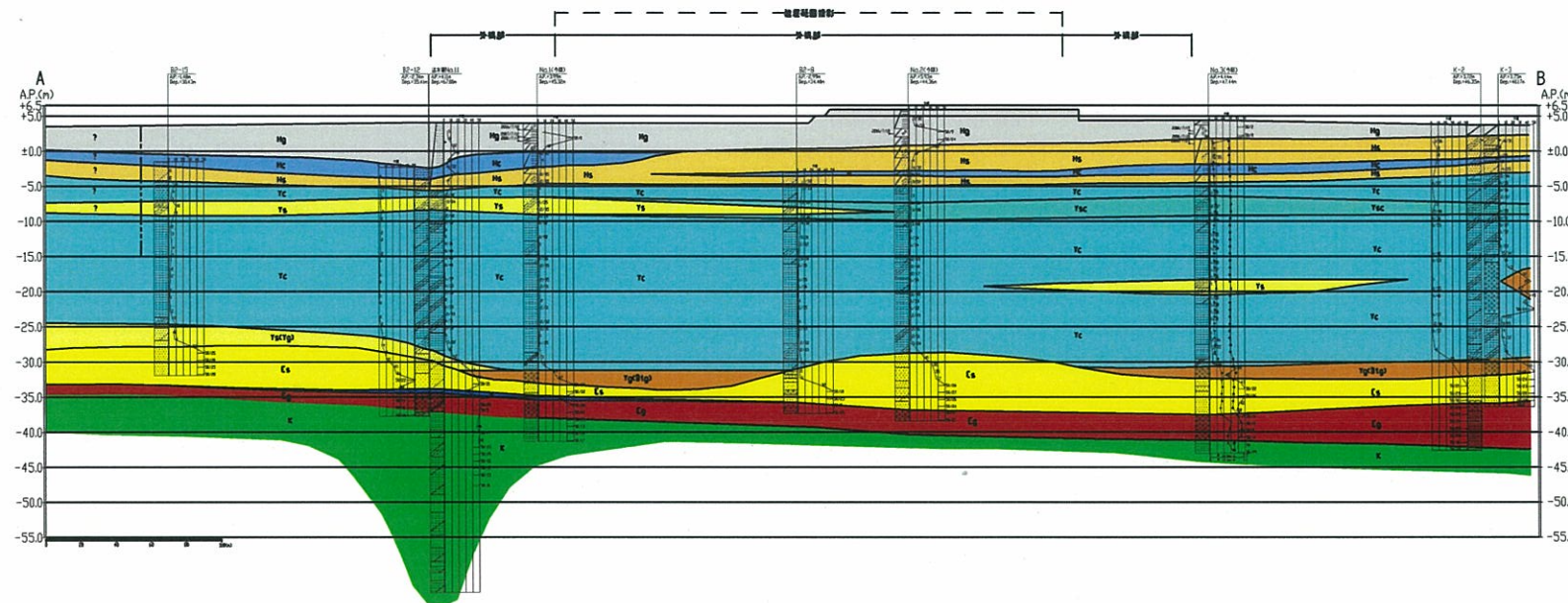


●地質断面図



地質凡例

地質時代	地層名	層相・土質	記号	N値 (平均値)	特徴	
完 新 世	盛土・埋土	礫混じり土砂 (残土、瓦礫)	Hg	1~50以上	コンクリート片やレンガ片、礫等を混入する礫質土や礫混じり土砂よりなる。残置基礎の一部も含む。	
		砂質土	Hs	1~11 (5)	主に浸漬により形成された貝殻混じり砂質土よりなる。含水量多く、緩い。一部、薄い粘性土と互層状を呈する。貝殻片を多量に含む特徴がある。	
		粘性土	Hc	1~8 (3)	浸漬により形成された軟弱な粘性土と礫等を混入する建設残土系の粘性土(ローム質土も含む)よりなる。	
	沖積層	有楽町層	砂質土	Ys	1~8 (5)	含水量が多く、非常に緩い細砂よりなる。細粒分を含む。有楽町層の最上部付近に主に分布しており、埋土とした浸漬土(砂質土Hs)と類似した層相を示す。見かけはHsより貝殻片の混入が少ない。
			中間土 (砂質シルト主体、一部シルト質砂)	Ysc	1~5 (3)	微細砂や細砂薄層を頻りに挟む粘性土から成り、部分的にはシルト質細砂状である。A.P.-6.5m~9.0m付近に分布するYs層にはほぼ連続する。貝殻片をしばしば多量に含む。
			粘性土	Yc	0~6 (1)	非常に軟弱なシルトよりなる。砂分の混入の多い部分が見られるが、全体にはほぼ均質なシルトで構成される。最上部は埋土の粘性土Hcとの区分が不明瞭である。基底部付近は褐色を帯びる有機質シルトが分布する。
			砂礫	Yg	20~38 (27)	6街区の沖積層基底部に分布する厚さ2m弱の緩い砂礫層と環状2号線と補助315号線の交差点付近の沖積層中に挟まれるほぼ縮まっている砂礫層からなる。6街区の砂礫層は、埋設段丘礫層Bgの可能性がある。今回の調査では後者の沖積層中に挟まれる砂礫層は確認していない。
	第四紀	埋設段丘堆積層	粘性土	Btc	1~5 (4)	有機質なローム質土よりなる。7街区の有楽町層下に分布が確認された。
			砂礫	Btg	31~42 (37)	φ2mm~30mmくらいの円礫を主とする砂礫層で厚さは0.4m~2m弱である。含水量多く、ややルーズである。
		東京層	T	-	今回未確認	
新 世		江戸川層	砂質土	Es	6~50以上 (50)	主に密に締まった砂層で構成され、微細砂から粗砂、礫混じり砂まで種々の粒径の砂層よりなる。5街区や7街区の沖積層などの被覆層直下の部分はやや緩い部分が認められる。これらの部分は東京層(晴海層)に相当する可能性もある。
	粘性土		Ec	11~50以上 (30)	5街区のA.P.-15m~20m付近に分布する。一部固結状を呈する硬質な粘性土である。地層の厚さの変化が著しい。このほかにEs層中に薄く挟まれる粘性土も含む。	
	砂礫		Eg	71~50以上 (110)	6街区でのみ確認した。φ2mm~50mmくらいの円礫、亜円礫よりなる密に締まった砂礫層である。礫はほぼ新鮮で硬質なものが多い。直下の上総層群を覆うように分布する。	
上総層群	固結シルト (軟岩)	K	50以上 (80)	全体に砂分を少量含む固結シルトで構成される。いわゆる「土丹」とよばれる地層に相当する。被覆層との境界部はやや軟質となるが、主体はほぼN値50以上を示している。既往資料では砂層をしばしば挟む。		



●ボーリング柱状図 (No. 1~No. 4)

[No. 1]

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	2.99	1.00		盛土(粘土混じり砂)	黒灰		中位の	0.1mまで砕石やコンクリートガラ。0.1m以深は、φ50mm位のコンクリートガラや礫を含む粘性土(上部はローム質土、下部はシルト)。
2	1.84	1.15		盛土(粘土混じり砂)	黒灰			φ5mm~20mm位のコンクリート片や礫、ごみなどを含む粘性土で構成される。含水量多く、やわらかい。
3	1.49	0.35		盛土(粘土混じり砂)	暗灰			上部はコンクリートで下部は円礫となる。送泥水が若干漏水する。
4	1.09	0.40		盛土(粘土混じり砂)	暗黒灰			φ3mm~30mm位の円礫やガラを混入する細砂よりなる。
5	-0.11	1.20		盛土(粘土混じり砂)	暗黒灰		中の	φ3mm~30mm位の礫・ガラと粘性土の互層状である。下部ほど粘性土が多い。
6	-2.31	2.20		盛土(粘土混じり砂)	暗黒灰			やわらかい不均質な粘性土で構成され、φ3mm~20mm位の礫を混入する。粘性あり。
7	-3.21	0.90		埋土(シルト混じり細砂)	暗黒灰		非常に緩い	全体にシルト分を含む細砂である。含水量多い。貝殻片を混入する。
8	-4.71	1.50		埋土(シルト混じり細砂)	暗灰		非常に緩い	不規則にシルトを挟む細砂で、シルトと互層状である。所々シルト分が多く砂質シルト状である。貝殻片を混入する。含水量は中位である。
9	-6.51	1.80		シルト	暗灰		非常に緩い	砂分を不規則に含むシルトである。粘性はやや強い。貝殻片を混入する。
10	-9.01	2.50		シルト質細砂	暗灰		非常に緩い	細砂と砂質シルトの互層状を呈する。所々シルト優勢で砂質シルト状である。貝殻片を混入する。含水量は中位である。
11	-12.81	3.80		シルト	暗灰		非常にやわらかい	上部はパイプに含水量の多い細砂を混入する。ほぼ均質なシルトよりなり、少量の貝殻片を混入する。非常にやわらかい。
12	-16.01	3.20		砂質シルト	暗灰		非常にやわらかい	不規則に砂分を混入するシルトで、所々砂分多く、シルト質細砂状を呈する。貝殻片を少量混入する。下部は砂分の混入が減少する。

[No. 2]

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	3.23	2.70		盛土(粘土混じり砂)	暗黒灰		中の	不均質なガラ・礫混じり粘性土よりなる。コンクリートガラやレンガ片、礫、木片等を多量に混入する。0.5mまで暗黒灰色粘土主体。1.6mまで黒灰色の良気強い粘土主体。1.7mまでローム質土。2.7mまで暗黒灰色のシルト主体である。
2	2.03	1.20		盛土(粘土混じり砂)	暗灰			コンクリートやコンクリート片主体である。2.8mまで鉄筋入りコンクリート。3.15mまで玉石混じりシルト。3.5mまでコンクリート。3.9mまでコンクリートガラ主体である。
3	0.78	1.25		盛土(粘土混じり砂)	黄褐色			3.9m~4.1m間黄褐色の細砂。4.25mまでレンガ・コンクリート片を混入する粘土。4.65mまで砂。5.15mまでレンガ片や礫を混入する砂質シルトよりなる。
4	-0.97	1.75		埋土(シルト混じり細砂)	暗灰		緩い	上部は礫や海貝殻片を少量混入する。最上部は固結状である(地盤改良?)。細砂を主とし、シルトと細砂の互層状を呈する部分が多い。貝殻片を多量に混入する。含水量多く、緩い。
5	-2.77	1.80		埋土(シルト混じり細砂)	暗灰		緩い	シルトの薄層を互層状に挟む不均質な細砂よりなる。貝殻片を多量に混入する。含水量多く、緩い。
6	-3.47	0.70		埋土(シルト)	暗灰		非常にやわらかい	ほぼ均質なシルトで僅かに微細砂を混入する。
7	-4.97	1.50		埋土(シルト)	暗灰		非常に緩い	上部はシルト分を含む。11m付近より貝殻片を多量に含むようになる。砂粒子はほぼ粒径均一である。含水量多く、非常に緩い。
8	-5.97	1.00		砂質シルト	暗灰		やわらかい	全体に砂分多く含む。貝殻片を少量混入する。
9	-7.37	1.40		シルト	暗灰		やわらかい	ほぼ均質なシルトである。貝殻片を少量混入する。
10	-9.87	2.50		砂質シルト	暗灰		やわらかい	砂分多く含む。しばしばシルト質細砂状を呈する。貝殻片を多量に含む。
11	-10.67	0.80		砂混じりシルト	暗灰		やわらかい	下部ほど砂分の含有が多くなる。やや不均質なシルトである。含水量多い。
12				シルト	暗灰		非常にやわらかい	細砂をパイプ状に混入する。貝殻片を混入する。全体に砂分を少量含む。やや不均質である。
13				シルト	暗灰		非常にやわらかい	ほぼ均質なシルトよりなる。非常にやわらかい。貝殻片を少量混入する。
14				シルト	暗灰		非常にやわらかい	19m付近、ポケット(パイプ)状に貝殻片混じりの細砂を混入する。

[No. 3]

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	3.74	0.70		盛土(粘土混じり砂)	暗黒		非常に密な	最上部20cmは砕石よりなる。下部はローム質の礫混じり粘性土である。
2	1.84	1.90		埋土(シルト混じり細砂)	暗灰		非常に緩い	φ300mm~400mmの玉石やコンクリートガラよりなる。崩れやすく、送泥水が逸水する。
3	-1.81	3.65		埋土(シルト)	暗灰		非常に緩い	2.6m~6.25m間は、粒径ほぼ均一な細砂からなる。全体に含水量多く、非常に緩い砂である。貝殻片を少量混入する。5m付近木片を混入する。
4	-3.31	1.50		埋土(シルト)	暗灰		緩い	非常にやわらかい。所々層状に砂の薄層を挟む。粘性は中位である。
5	-4.46	1.15		砂混じりシルト	暗灰		非常にやわらかい	多量の貝殻片を混入する粒径の不均一な砂よりなる。含水量多く、緩い。
6	-6.36	1.90		砂質シルト	暗灰		非常にやわらかい	非常にやわらかい。不規則に砂分を含む。所々砂分多く、シルト質細砂状である。貝殻片を多量に含む。
7	-9.16	2.80		砂混じりシルト	暗灰		非常にやわらかい	少量の砂分を混入する。貝殻片を少量混入する。
8	-11.46	2.30		シルト	暗緑灰		非常にやわらかい	ほぼ均一で一様なシルトよりなる。貝殻片を少量混入する。非常にやわらかい。
9				シルト	暗緑灰		非常にやわらかい	19.85m付近に砂分を少量含む。ほぼ均一で一様なシルトよりなる。極少量の砂分を混入する。

[No. 4]

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	12.52	3.30		盛土(粘土混じり砂)	暗灰			3.3mまで粘土混じり砂よりなる。
2				盛土(粘土混じり砂)	暗灰			φ2mm~300mm位の礫、玉石を主とし粘性土を混合する。コンクリート片も混入する。
3				盛土(粘土混じり砂)	暗灰			7.0mまで礫混じり粘性土よりなる。
4				盛土(粘土混じり砂)	暗灰			φ2mm~200mm位の礫、玉石を多量に含む。貝殻片も少量混入する。色調変化著しい。
5	8.82	3.70		盛土(粘土混じり砂)	暗灰		緩い	9.8m付近まで礫混じりシルト質細砂主体である。φ2mm~50mm位の礫を多量に混入する。レンガ片やコンクリート片を少量含む。貝殻片も少量混入する。
6				盛土(粘土混じり砂)	暗灰		緩い	9.8m以深は褐色の礫混じりシルト質細砂で礫のほかに木片を多量に含む。
7	5.33	3.49		盛土(粘土混じり砂)	暗灰			中位の
8	3.62	1.71		盛土(粘土混じり砂)	暗茶色			φ2mm~30mm位の礫やコンクリート片、木片を多量に混入する。下部はローム質土を少量含むようになる。
9	2.97	0.65		盛土(粘土混じり砂)	暗茶色			やわらかい
10				盛土(粘土混じり砂)	乳黄褐色			中位の
11	1.12	1.85		盛土(粘土混じり砂)	暗茶色			13.1mまで凝灰質粘土。14.7mまで礫混じり粘土質細砂。14.7mまで礫混じり砂質粘土よりなる。φ30mm位の礫、ガラを少量混入する。ローム混じる。
12	0.02	1.10		盛土(粘土混じり砂)	暗茶色			やわらかい
13				埋土(砂質シルト)	暗灰			薄層状に細砂を挟むシルトで、しばしばシルト質細砂状を呈する。貝殻片を混入する。
14	-3.68	3.70		埋土(砂質シルト)	暗灰			18.7m~18.9m間貝殻片を多量に混入する。18.9m以深は微細砂分を多量に含むようになる。全体に不均質である。
15				埋土(砂質シルト)	暗灰			全体にシルト分を含み、貝殻片を多量に混入する細砂である。所々貝殻片を放つ黒灰色のシルト質細砂を挟む。粒径はほぼ均一である。含水量多い。

●ボーリング柱状図 (No. 5~No. 8)

[No. 5]

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	6.01	1.80	1.80	盛土(礫混じり砂土)	暗褐色	緩い	緩い	1.8mまで礫やコンクリート片等のガラを多量に混入する砂質土よりなる。全体に細粒分も含む。
2	5.21	0.80	2.60	盛土(礫混じり粘土)	褐色	中位の	中位の	2.6mまで礫混じりの粘土で多量の礫を混入する。不均質である。
3	3.16	2.05	4.65	盛土(礫混じり砂)	茶褐色	緩い	緩い	4.65mまでφ10mm~100mm位の礫を混入する細砂よりなる。粒径はほぼ均一である。含水量は中位~少ない。山砂系の盛土である。
4	2.85	0.30	4.95	盛土(コンクリートガラ)	灰	暗褐色	暗褐色	コンクリート、コンクリート削削後、送泥水が逸水する。
5	1.66	1.20	6.15	埋土(礫混じり砂)	暗褐色	中位の	中位の	φ10mm~30mmの円礫を含む。含水量は中位である。粒径はほぼ均一な細砂よりなる。貝殻片を少量混入する。
6	0.37	2.60	7.80	埋土(細砂)	暗褐色	緩い	緩い	粒径のほぼ均一な細砂からなる。多量の貝殻片を混入する。含水量多い。7.1m~7.2m間にシルトを挟む。
7	-1.49	3.15	9.30	埋土(シルト)	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	細砂の薄層を挟む。非常にやわらかい。
8	-2.59	1.10	10.40	埋土(細砂)	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	粒径のほぼ均一な細砂よりなる。貝殻片を少量混入する。含水量は中位~多い。
9	-3.99	1.40	11.80	シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	ほぼ均質なシルトよりなる。少量砂分を含む。貝殻片を少量混入する。粘性は中位である。
10	-6.59	2.60	14.40	砂質シルト	暗褐色	やわらかい	やわらかい	不均質に砂分を混入し、所々シルト質細砂状である。貝殻片を少量混入する。
11	-9.09	2.50	16.90	砂混じりシルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	ほぼ均質なシルトであるが所々砂分を混入する。貝殻片を少量混入する。19.35m付近、砂分の混入多い。非常にやわらかい。

[No. 6]

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	4.10	2.75	2.75	埋土(礫混じり粘土)	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	0.40mまで砕石。 0.40m~4.15m間は砂質粘土主体でガラが点在する。 不均質な粘性土主体の混合土砂で礫を混入する。
2	3.40	0.70	3.45	埋土(コンクリート)	灰	暗褐色	暗褐色	4.15m付近より礫混じり細砂となる。4.60m付近よりガラやワイヤ、木片(丸太)等を混入する。4.80m~5.20m間はコンクリートガラを主とする。
3	1.75	1.65	5.10	埋土(細砂)	黒灰色	非常に緩い	非常に緩い	5.20mより貝殻片を多量に含む細砂となる。含水量が非常に多く、緩い砂である。色調は黒灰色を呈する。
4	-1.05	2.80	7.90	シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	ほぼ均質なシルトである。貝殻片を少量混入する。細砂を少量混入する。
5	-1.35	0.30	8.20	細砂	暗褐色	緩い	緩い	粒径のほぼ均一な細砂である。少量のシルト分を含む。含水量非常に多く、緩い。貝殻片を混入する。
6	-4.58	3.15	12.75	砂質シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	不均質なシルトよりなり、砂分を不均質に含む。下部は砂分の混入が多く、所々シルト質細砂状である。貝殻片を混入する。
7	-6.63	2.05	14.80	砂質シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	砂分を不均質に多量に混入し、しばしばシルト質細砂状を呈する。下部は砂分多くなり、φ10mm~30mmの重円礫が点在する。貝殻片を混入する。見かけの含水量多い。
8	-9.73	3.10	17.90	細砂	黄褐色	中位の	中位の	ほぼ粒径の均一な細砂となる。黄褐色を呈するやや酸化した細砂で密に締まっている。 20m付近は微細砂分の混入が多くなる。 最下部付近は粒子粗くなり中砂分、粗砂分混じる。

[No. 7]

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	4.10	2.75	2.75	埋土(礫混じり粘土)	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	2.75mまで不均質な礫混じり粘土よりなる。 細砂を不規則に混入する。 植物片の混入もみられる。
2	3.40	0.70	3.45	埋土(コンクリート)	灰	暗褐色	暗褐色	鉄筋入りコンクリート。
3	1.75	1.65	5.10	埋土(細砂)	黒灰色	非常に緩い	非常に緩い	黒灰色を呈し、臭気のある細砂である。礫が点在する。貝殻片を混入する。シルトの薄層を挟む。
4	-1.05	2.80	7.90	シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	ほぼ均質なシルトである。非常にやわらかい。砂分を少量混入する。細砂の薄層を挟む。貝殻片を混入する。
5	-1.35	0.30	8.20	細砂	暗褐色	緩い	緩い	貝殻片を混入する。
6	-4.58	3.15	12.75	砂混じりシルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	砂分を不規則に混入する。貝殻片を混入する。非常にやわらかい。下部ほど砂分の混入が増す。
7	-5.95	0.90	12.80	砂質シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	砂分の混入が多く、所々シルト質細砂状である。含水量多い。貝殻片混入。
8	-8.90	2.95	15.75	シルト質細砂	暗褐色	緩い	緩い	全体に細粒分を不規則に含む細砂である。所々細粒分の混入が多い。不均質な中間土である。見かけの含水量は中位~少ない。色調は褐色を呈する部分が多く、見かけはやや酸化(風化)している。最上部付近は、微小な貝殻片の混入が極少量みられる。
9	-11.95	3.05	18.80	シルト混じり細砂	緑褐色	緩い	緩い	細砂主体で微細砂薄層を挟む。全体に酸化し、褐色を帯びる。 17m付近やや粒子粗くなり、含水量多くなる。
10				細砂	暗褐色	中位の	中位の	粒径のほぼ均一な細砂からなる。19m付近までは色調が褐色の酸化色を呈するが、20m以深は暗灰色を呈するようになる。 含水量は中位である。 所々厚さ1cm~2cmくらいのシルト薄層を挟む。 下部ほど密に締まっている。

[No. 8]

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記
1	4.03	2.50	2.50	埋土(礫混じり粘土)	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	上部は礫やコンクリート片、レンガ片を多量に含むローム質土や粘土よりなる。不均質である。 1.7m付近よりコンクリート片の混入が多くなる。
2	2.93	1.10	3.60	埋土(コンクリート)	灰	暗褐色	暗褐色	鉄筋入りコンクリート。コンクリート下10cmはローム質土が分布。
3	1.03	1.90	5.50	埋土(細砂)	黒灰色	緩い	緩い	貝殻片を多量に含む細砂よりなる。小礫も点在する。シルトの薄層を挟む。含水量多い、部分的に粗砂が多い。
4	-3.62	4.65	10.15	シルト	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	ほぼ均質なシルトであるが、全体に少量の砂分を含む。 細砂の薄層を所々挟む。 貝殻片を少量混入する。 腐植が少量点在する。 非常にやわらかいシルトである。
5	-6.07	2.45	12.60	シルト混じり細砂	暗褐色	非常に緩い	非常に緩い	全体にシルト分を含む細砂である。上部はシルトを層状に挟む部分が見られる。貝殻片を少量混入する。 12m付近にはやや細かいシルトをブロック状に混入する。 最下部付近は小礫が点在する。含水量は中位~やや多い。
6	-7.17	1.10	13.70	シルト混じり微細砂	青灰色	中位の	中位の	全体にシルト分を含む微細砂である。部分的に砂質シルト状を呈する。
7	-9.22	2.05	15.75	粘土混じり細砂	暗褐色	中位の	中位の	細粒分を全体に含む細砂で一部固結状である。 14m付近褐色を強く帯びる。
8	-11.27	2.05	17.80	細砂	暗褐色	中位の	中位の	粒径のやや不均一な細砂で所々粗粒な部分を挟む。 見かけの含水量は中位~やや少ない。
9				微細砂	暗褐色	中位の	中位の	粒径微細で均一な砂よりなる。見かけはほぼ均質な微細砂である。 19m付近よりやや褐色の強い色調となる。 下方ほど密に締まるようになる。